

「クラスメイト」を読んで

五年生

「カンニング」を読んで

五年生

【母】

カイクを通してなづかちゃんの心の中で起こっている感情のコントロールがよく伝わりました。

カイクを親友が忘れずに持つてきてくれて嬉しい！やっぱり親友だ・・・と思っていたけどカイクの大きさ問題・・・。

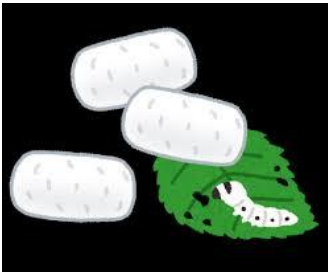
持つてきてくれただけでもよかったかな・・・と思いたいところですが親友と思っていたのがびっくりきたと感じてしまう本当に複雑な思いを「心のドラマ」といっていますが一暇の間いろいろな思ったんですね。でも、えみちゃんの立場も考えてあげることが出来る優しいなづかちゃんの前向きな考えにかえていけるところが素敵だと思います。

【兄】

なづかちゃんのカイクだけ小さくて、決める時に「話し合い」や「じやんけん」で決めたらなづかちゃんは、かなしい思いをしなかったと思います。

手を切った時に、男子が「ぎよっ、ホラー」って言うのは、ひどいけどそれに、みんなが笑わないのもクラスのみんなのやさしさだと思いません。

なづかちゃんは、いたい思いをしたり、悲しい気持ちになったりしたけど、えみちゃんのことでも思いやって立場を理解しようと、考えていたのがすごいなと思いました。



ぼくはこの本を読んで、シャーロックホームズはすごいなあと思いました。名探偵といわれるだけあって、事件を解決したので、びっくりしました。

ぼくは、二人の学生の中だとマクラーレンがはんなりかと思いました。本当のはんなりはギルクリスでした。せが高いことともう一つ、はぼとびの黒いねん土がしようこになっていました。

悪いことをしたら気分も良くないし、いつかばれると思います。ぼくはどんな時でも悪いほうに流されないようにしたいです。

でも最後、ギルクリスは手紙を書いて、試験を受けないことに決めています。すなおになってよかったです。

親友の森本えみちゃんがカイコを持ってきてくれたときは、とてもうれしかったと思う。でも、カイコがみんなより小さいことに気づきえみちゃんになぜ、わたしのカイコは小さいのかとぎもんを持った。親友だったら、せめてぷりんぷりんの小さいほうのやつくれたらよかったのに。わたしだって、やつぱり大きいのがほしいし、それに、なんていうのかなあ。カイコの大きさのことではなくて、わたしのことをわすれないで、大切に思ってくれる気持ち、はつきり見たかった。と心かもやもやしたんだと思う。でもえみちゃんをせめるのではなく、えみちゃんの気持ちを考えて、今でもなかよく遊んでいることがすごいなと思いました。ぼくもなかのいい友達とけんかになりそうだったとき、相手の立場をじっくり考えることが大切だと思います。



- 【子】春山一郎と、犬丸太郎は、顔が似ているのかなと、最初に思いました。ふつうなら顔が似ていたらみんなおどろくはずだけど、全然おどろいてないから不思議に思った。
- 【母】そうだね。ビックリするはずなのにね。一郎のまわりでおこったこと、どう思った？
- 【子】一郎は、悪いことをしていて、でも、太郎は、正しいことをやっていると思う。
- 【母】同じことをしているようだけど、一郎と太郎は少しちがったよね。一郎は少し残念な感じに思えたなあ。作文を丸うつしたり、算数のテストの問題集でいつでも百点を取ろうとしたり、リヤカーを押してあげてる様で、途中でいなくなったり、お母さんにウソをついて映画を観ているのに投書箱に太郎の悪口を書いたり…。太郎のいい所はどんなところかな？
- 【子】一郎のできてないことができてる。例えばおばあちゃんのリヤカーを一郎は、自分の家までしかおくってあげてないけど、太郎は、おばあちゃんのとつだいを最後までやっているとこだと思います。
- 【母】太郎は、やさしい所がいい所じゃね。一郎は？一郎はどんな子だと思う？
- 【子】人のことは、なんも思わず、自分かってで、いじわる。
- 【母】さあさあ、では、犬丸太郎はいつたいたれだと思おう？
- 【子】ぼくは、本の最後を見て、最初にでてきた飼犬クロだと思った。わけは、最後らへんのとこを見たかんじ、全部ゆめだったとゆうことなどで、飼犬のクロが一郎のゆめの中にいて、太郎がクロなのは、クロが一郎をゆめからさまそうとしてたんだと思います。〇〇はそう思ったんじゃないね。母さんは、仲良しのクロが人間だったらな、とあって、想像の中に出てきたのが太郎だと思ったよ。

【子】

わたしは、一郎は最初にズルとかをしていたけど、犬丸君が来て、だんだん自分が分かってきていたから、どんどん性格が今よりも、もっともつと良くなっていくのかなと思いました。

他にも犬丸君は、わたしは、クロだと思っていて、最後に、このお話がゆめだと分かってとつてもびつくりしました。

でも、ゆめで、自分の性格が分かっていってとつてもいい人になるのはいいなと思いました。しかも、自分と顔が似ている子がいたらこわいなと思うしわたしは、いやだなと思いました。

他にも、することが同じような事にもいやだなとわたしは思いました。とても不思議なお話だと思いました。

【親】

一郎に似た、犬丸太郎君が転校して来て、一郎は、自分の行動等、犬丸君に真似されて嫌な気持ちになり・・・

『人の振り見て我が振り直せ』のことわざみたいな本だなぁと思います。一郎が気付いていない事を、犬丸君が気付かせてくれたのかな？つと・・・自分本位の事だけでなく周りの事もちゃんと考え行動出来たら良いね！つと子供と一緒に話しました。

私は、「見えなくなったクロ」の一ページ目で、何か事件が起こるような話だなと思い、むねがドキドキしました。わたしがこの本を最後まで読んでかんじた事は、三つあります。

一つ目は、自分がテストでズルして百点を取っている事を心のどこかで、「ダメだ」「直さなきゃ」という気持ちで犬丸太郎を生み出したんだと感じました。なぜかというところ、心のどこかでズルしていた事を「ダメだ」「直さなきゃ」と思ってないと、犬丸太郎は出てこなかったからです。

二つ目は、もう春山一郎はズルした事を反省しズルしない事を決めたから犬丸太郎という存在は消えたんだと感じました。

三つ目は、最終的に犬丸太郎は、春山一郎のゆめに出てきたす直な人にさせてくれるやさしい人だと感じました。